

標 題 : Diet and Colorectal Adenomas : A Case-Control Study in Majorca
食事と結直腸腺腫 : マジョルカ島における症例 - 対照研究

著 者 : E. Benito, et al. (スペイン バルセロナ公立大学 生物統計疫学研究所)

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 55: 213-219 (1993)

要 旨 : 食事要因と結直腸腺腫に関する症例 - 対照研究が、スペインのマジョルカ島で
1987年4月から1990年2月まで実施された。

食事頻度アンケートを用いて被験者を面接した。現地の食品成分表を用いて、
栄養素およびカロリー摂取を算定した。

結直腸腺腫のリスクは、砂糖およびペストリーの摂取と関連した。

調理法に関係なく野菜の摂取は強く予防的であった。栄養素の分析で、野菜と
果物由来の繊維、マグネシウムと亜鉛、およびビタミンC、Bと葉酸が、予防因
子として確認された。

飲酒、飽和脂肪と動物性タンパク質の摂取に過剰なリスクはないと認められた。

非食事要因としては、職場での座業および都市居住だけが危険因子として確認
された。
